

2015 年度の評価

2015 年度年度評価

診療部門では、10月より「すずらんグループ（関わり方を学ぶ）」を全10回で試行的にスタートさせた。学齢時の保護者を対象としており、学齢児のグループは初の試みであった。

地域生活支援部門では、相談件数が大きく増加した。電話相談は特に増加し、療育相談センターがより市民に周知されたこと、ニーズの高さがうかがえる。

障害児相談支援事業及び特定相談支援事業については、計画作成228件、モニタリング367件であった。計画作成、モニタリングともに昨年度より大幅に増加しており、工夫を凝らし、業務の効率化により一定の効果があつた。

通園部門では、保護者を対象とした学校見学会や勉強会、保護者会主催のピアカウンセリングを実施し、保護者支援に力を入れた。

また、土曜日・日曜日に保護者参加日を実施し、普段の療育の様子を父親にも見てもらう機会を作る等、工夫を行った。

今年度は視察の要望が多くあつた。海外からの視察もあり、12月はJICAモンゴル、1月にはNISE外国シンポジウムからの視察の受け入れを行った。

国内外問わず積極的に外部との関わりを持ち、開かれた機関としてその役割を担っている。

今年度で第一期指定管理期間が終了した。指定管理者審査委員会が行われ、市議会定例会にて第二期指定管理者となることが決まった。

この8年間の様々な経験をさらに生かして、より充実した療育支援を期待したい。

2016 年 3 月

センターの運営は概ね順調である。

通園部門では卒園式が行われ、39名の卒園児が卒園した。

また、卒園児の学校への引き継ぎ、平成28年度入園説明会の開催、通園バスのルートチェックなどを実施。

地域生活部門では幼稚園へ入園する児童の引き継ぎを実施しており、来年度への準備を着実に進めている。

3月で指定管理第一期が終了となるが、第二期目も地域に根差した療育機関としてより充実した療育支援を期待したい。

2016 年 2 月

センター全体の運営は順調に推移している。

通園ではピアカウンセリングを実施、順調に第5回目を修了した。新年度に向けて、外来・通園いずれも学校への引継等を進めている。

第2回運営協議会の開催時に参加者より頂いた意見が、今後のセンター運営に生かされることを期待したい。

地域生活部門において、電話と面接の相談受付数が今年度最高値となり、相談件数が年々増加の傾向にあることの裏付けとなっている。

2016年1月

センター全体の運営は順調に推移している。

通園ではピアカウンセリングを実施、先輩保護者との情報交換を行った。

また土曜日に開催した保護者参加日は、父親の積極的な参加が多く、子どもと一緒に過ごす時間を持つことができた。

海外 NISE 外国シンポジウムからの視察の受け入れを行い、国内外問わず積極的に外部との関わりを持った。

また、職員研修を実施、他セクションとの関わりやセンター全体の業務の再確認など良い機会を持つことができた。

2015年12月

センター全体の運営は順調に推移している。

通園では交流保育、緊急時シミュレーション、お楽しみ会を行った。

JICA モンゴルからの視察の受け入れを行い、国内外問わず積極的に外部との関わりを持った。

職員研修でこどもの人権について考えるなど、職員の意識向上にも努めた。

また、第4回市議会定例会にて、平成28年度から8年間の指定管理者として承認された。

次年度以降においても充実した施設運営に取り組んでほしい。

2015年11月

センター全体の運営は順調に推移している。

災害などの緊急時への備えをよりしっかり確立するため、緊急時の園児引き取り訓練、通園での避難訓練など保護者参加の大きな訓練を実施した。

また、先月に引き続き運動会の開催や保護者会主催の通園保護者全体親睦会、先輩ママによる勉強会など、活発に活動を重ねている。

2015年10月

センター全体の運営は順調に推移している。

10月より新たに12名の児童がひまわり園に入園し、それに伴いクラスの増設を行った。

通園児の保護者との個別療育面談、学校見学、避難訓練や運動会など、個別に留まらず、広く地域との関わりを積極的に展開している。

また、継続的に療育講座を実施、外来保護者などに対しても門戸を広くあけ、学びの場を提供しつづけている。

2015年9月

センター全体の運営は順調に推移している。

2学期の開始ということで、定期健康診断、身体測定の実施や、10月より通園に入園する児の親御さん向け入園説明会などを実施した。

また職員の内外部研修を積極的に行い、チームアプローチの重要性を実感、再認識できるようなスキルアップを行っている。

2015年8月

センター全体の運営は順調に推移している。

夏休み期間を利用し、積極的に外部からの研修受け入れや施設見学などに協力いただいている。

また職員の外部研修への参加も行い、スキルアップを図っている。

2015年7月

センター全体の運営は順調に推移している。

療育相談センターの運営協議会を開催。

先月に引き続き、積極的に外部からの研修受け入れに協力いただいている。

発達障害に関する理解やかかわりについて、国立特別支援教育総合研究所より講師を招き講演会を実施し、100名超の参加があり、継続して理解や知識を深めていく努力をしている。

2015年6月

センター全体の運営は順調に推移している。

先月に引き続き、ひまわり園卒園生を中心に、外来利用児も含め就学先の小学校に引き継ぎを行い、スムーズな学校生活が送れるよう、移行支援の観点からサポートを行っている。

また発達障害に関する理解やかかわりについて、市の職員またはひまわり園の職員からの講座を開催し、継続して理解や知識を深めていく努力をしている。

2015年5月

センター全体の運営は順調に推移している。

5月26日に個人情報の紛失が発生、再発防止のため、職員への注意喚起と、より一層の個人情報管理の徹底を指示した。

5月27日には通園年長・年中児の保護者に向けて就学説明会を実施、47名の参加者があった。教育委員会より4名の担当者を迎え、就学までの流れや特別支援学級や養護学校などの支援について今後の学校見学等の進め方を説明頂き、先を見据えた、卒園後の園児のフォローを行っている。

2015年4月

開所8年目を迎え、センター全体の運営は概ね順調に行われている。

4月7日に30名の新入園児を迎え、ひまわり園の入園式を行った。

新規職員を6名採用、法人内人事異動も5人あり、気持ちも新たに新年度を迎えた。

法人にとっては本年度が第一期指定管理の最終年度であるが、引き続き前年以上の運営を期待している。

2014年度の評価

2014年度年間評価

療育相談センターの利用者数はどの部門においても増加している。専門職の欠員補充が難航している中、滞りなく運営がなされていることは評価できる。

保護者からの療育相談センターに対する意見については、適切に対応した。その場だけの対応ではなく、意見をセンター運営に継続して反映させていく柔軟さが見られた。

また、診療所としての初めての消防訓練の実施、災害時の通園バスが利用できない場合の引き取り訓練の実施等、危機管理に配慮した運営がなされている。

診療部門では1月に指定小児慢性疾病医療機関の認定を受けた。昨年度に引き続き、受診者数が初診、再診とも大幅に増加しており、過去最高となっている。

地域生活支援部門では、面接相談が増加しており、ニーズの高さが窺える。障害児相談支援事業及び特定相談支援事業については、今年度より児童の対象を広げて行った。

通園部門では、当初の予想を上回る在籍人数となったが、工夫をこらし、滞りなく療育が行われている。また、卒園児保護者との交流会を積極的に行い、先を見据えた支援が行われた。更に、診療部門の他職種による通園へのアドバイスなども行われた。卒園式では児の成長した姿が見られ、保護者からの感謝の言葉もあり、適切な療育が行われていることが窺えた。今後も充実した療育の継続を期待したい。

2015年3月

センター全体の運営は順調に推移している。

現地調査では、保育士全員による恒例の年度末大掃除と、施設メンテナンス作業が実施されていた。おわりの会（終了日）と卒園式は、園児たちの成長が見届けられる大変感動的なものであった。

また、新入園児を迎え入れるため、準備や引き継ぎなどを丁寧に行っている。

2015年2月

センター全体の運営は順調に推移している。

現地調査では、卒園式へ向けて園児と職員が毎日練習している様子が見て取れた。

また、療育相談センターが年2回自主開催の地震・津波避難訓練も実施され、日頃の訓練への真摯な取り組みにより、全園児と職員が短時間で避難することができた。

横須賀市療育相談センターのホームページを使った2月10日の療育講座開催のお知らせを行い、広く外来利用児（小学生～中学生）の保護者から参加を募集したところ、参加者が大幅に増加した。

青い鳥他センターより、保育士1名を人事交流の一環として2月16日より研修の受け入れをしている。

2015年1月

センター全体の運営は順調に推移している。

現地調査では保護者参加日に向けて、親子で楽しめるプログラムや児童への知らせ方を保育士が考え、意見を出し合っている様子を見ることができた。日頃の支援に対する創意工夫及び真摯な姿勢を汲み取ることができた。

1月29日には、障害児通所支援事業所連絡会を主催し、各事業所と積極的に意見を交わした。

今後も療育相談センターが本市の中心的な役割を担っていくことを期待する。

2014年12月

センター全体の運営は順調に推移している。

依然として診療所の患者数は高い水準で推移しており、人員配置も適切に行われている。

12月11日付で指定小児慢性特定疾病医療機関の申請をし、1月1日付の認定を受けた。

ますます市民にとって利用しやすい、開かれた施設となることを期待している。

2014年11月

診療所利用者数は依然、高い水準で推移している。

11月7日、災害で通園バスが使用不可となった場面を想定した初めての引き取り訓練を実施した。設定時間内に混乱なく訓練を終了することができたのは、日頃から職員と保護者が密に連絡を取り合っているからであり、信頼関係が窺えた。

また、本市主催の研修においては講師派遣等、格段の協力を得ることができた。

2014年10月

センター全体の運営は順調に推移している。

10月17,20日には職員1名が引率し、ひまわり園より通園バスを利用して、県立武山養護学校「学校へ行こう週間」の学校見学に参加し、先を見据えた上で寄り添った支援を行っている。

また、10月22日に実施したはぐくみかん全体の避難訓練時には職員が積極的に参加していた。

2014年9月

受診者数や相談件数の増加など、センター全体の運営は順調に推移している。

診療所としては、初めての消防訓練を行った。診療所内のホースを伸ばす、消火器の場所を確認、消防へ実際に通報するほか、ほとんどの訓練参加者が水消火器を用いて使用方法を確認するなど、現実にした訓練であり、意識の高さが窺えた。

本市主催の研修においては、講師派遣等、格段の協力を得ることができた。

モニタリングについては引き続き計画的に行っていくことを期待する。

2014年8月

通園施設は8月4～15日の2週間は夏休みだった。その期間を利用して施設内の清掃や玩具の消毒などを徹底して行っており、衛生面において意識の高さが窺えた。

4月～6月に実施予定であったモニタリングの積み残しについては、尚一層の努力が求められている。再度、計画を立て直し、確実に実施できるように努めて欲しい。

2014年7月

通園部門では医療型クラス、福祉型クラスに分かれ保護者会主催によるピアカウンセリングを実施した。先輩保護者をそれぞれ5名招き、通園保護者56名が参加し、入学後のことなどについて情報交換を行った。

障害児相談支援のモニタリングが実施された。引き続き、件数の推移を見守っていくこととする。

療育相談センターに対する意見について、その対応が適切になされていたことについては評価できる。今後も積極的に意見を取り入れ、より利用しやすいセンターであることを期待している。

2014年6月

通園部門では保育参加日を2日間に分けて日曜日に実施し、合わせて155名と多くの保護者の参加があった。特に普段、児童の療育に参加できない父の参加も多くあり、児童の成長や日頃の様子を知ることができる貴重な機会となった。

また、地域生活支援部門、診療部門では外来利用者の保護者を対象に今年度初めての療育講座を実施した。「発達障害の理解と対応」をテーマに講師を心理士が務め、27名の参加があった。

今後も創意工夫し開かれたセンターとして、様々な保護者支援、地域支援を期待している。

2014年5月

教育委員会支援教育課と連携を図り、外来利用者と通園利用者の保護者を対象にそれぞれ就学説明会を開催した。保護者支援の充実が図られており、先を見据えた支援が行われている。

「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」の作成は、モニタリングが集中する時期となっている。利用者支援の視点からモニタリングは極めて重要であることから、計画的に実施できるように努めて欲しい。

また、通園課職員、看護師、管理課職員による、今年度初めての緊急時対応マニュアルに添ったシミュレーションを実施し、危機管理に努めている。不測の事態に備え今後も定期的実施していくように期待している。

2014年4月

通園部門では医療型5名、福祉型29名の新入園児を迎え、入園式が滞りなく行われた。通園の在籍人数も医療型16名、福祉型78名となり、今年度から始業式の日も午後を療育の時間として活動を行ったが混乱もなくスタートできた。

「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」については、4月実績分として療育相談センターの通園部門に通う児童を対象に63件作成した。翌月以降、その計画のモニタリングをする必要があるので随時実施できるように期待している。

2013年度の評価

2013年度年間評価

7月1日付で障害児相談支援事業及び特定相談支援事業の指定を受けた。25年度は通園施設に通う児童を対象としており、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の新規作成を行った。計画を作成するにあたり、保護者との面接を丁寧に行い、児童のニーズや保護者の希望を適切に把握して作成しており、今後も継続して安定した取り組みを期待している。

地域生活支援部門では、今年度より親子教室を終了後幼稚園等に入園した児童を対象に初めて同窓会を開催した。教室終了後も継続した支援を行っており、これからもニーズに応じて実施してもらいたい。

通園部門では、就学相談会、学校見学、先輩保護者との座談会、料理講習会、保護者勉強会等、保護者の目線に立った支援が行われている。これらの行事を安定的に実施しており、充実が図られている。

診療部門では受診者数が初診、再診ともに増加した。そのような中、外来の利用者を対象とした療育講座で講師を務める等、診療とは別の視点での支援を実施しており、これからもニーズに応じて様々な支援を開催してもらいたい。

また、年間を通じて計画的に様々な災害を想定した避難訓練、不審者対応訓練を実施した。限られた時間の中で効率よく避難できるようにするための工夫をしており、より現実に即した訓練になってきた。これからも日々の訓練の中で改善点を見出し、より児童に配慮した運営がなされることを期待している。

2014年3月

施設の管理運営は概ね順調に推移している。

診療所利用児の個別記録1件を紛失する事故が発生した。個人情報の取り扱いと再発防止の徹底について指定管理者へ再度指導した。

通園施設では卒園式が滞りなく行われた。就学するにあたり、通園児の入学予定の小学校、特別支援学校への引き継ぎを実施し、継続した支援が行われている。

2014年2月

施設の管理運営は概ね順調に推移している。

降雪時に、通園バスを運休し、自主登園としたことについては、安全面を考慮した対応がなされている。

通園部門では有事に備えて避難訓練を毎月実施しているが、2月13日には診療部門も含めたセンター合同避難訓練を実施し、通園児・保護者も含め119名が参加しており、意識の高さがうかがえる。

2014年1月

施設の管理運営は順調に推移している。

通園部門では保護者会主催で「先輩保護者との座談会」を開催し、「日常生活の問題点」、「就労」、「兄弟姉妹との接し方」、「日常生活の工夫」等、日頃の悩みや困っていることをテーマに様々な話をする有意義な機会となっている。

ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症が流行する時期であることから、感染予防について保護者勉強会の開催や職員への周知、情報共有の徹底等に取り組んでおり評価できる。

2013年12月

施設の管理運営は順調に推移している。

通園部門では、卒園式に向け準備を行っている。また来年度継続児のクラス編成、バスルートやバスポイントの設定等、来年度に向けた準備を進めている。

診療部門では、作業療法士が講師となり通園保護者勉強会を、また、言語聴覚士が講師となり外来利用者（小学生）の保護者向けの療育講座をそれぞれ開催した。

今後もニーズに応じた講座を開催し積極的な保護者支援を期待したい。

2013年11月

施設の運営・管理は概ね順調に推移している。

通園部門では先月に引き続き医療型クラスと併行クラスの運動会を開催した。通園児の保護者や祖父母、兄弟児等多くの参加があった。

市内養護学校の職業体験の受け入れを行った。通園施設での保育業務の体験を通し、多くの経験を得る機会となった。地域支援の件点からも今後もできる限り受け入れを行って欲しい。

また、横須賀市私立幼稚園協会のひまわり園見学も行った。療育相談センターでの療育を理解してもらうことで、幼稚園との連携が深まり地域支援につながることから、今後も関係機関と様々な形でこのような取り組みがあることを期待したい。

2013年10月

施設の運営・管理は順調に推移している。

通園課では、親子クラス及び単独クラスの運動会を開催した。園児の成長を感じることができ、また多くの保護者や祖父母、兄弟の参加もありとても賑やかな楽しい運動会となった。

地域生活支援課では、「発達障害のお子さんを地域で支えるには」をテーマに所長が講師となり、療育講演会を開催した。時間帯を午後に設定する等の工夫をし、保護者だけでなく地域の支援者の参加も多くあった。参加者からは、「大変参考になった。今までの普段の関わりを振り返る良い機会になった。」等の感想があった。今後も地域支援としてニーズに沿った取り組みを期待したい。

2013年9月

施設の運営・管理は順調に推移している。

地域生活支援課では、外来利用者の保護者向けに第3回目の療育講座を開催した。心理士が講師を務め、23名の参加があった。

通園課では、医療型クラスで先輩保護者との茶話会が開催され、卒園後の学校生活などの話を参加した保護者へ伝えていた。

また、就学相談会を実施する等、利用者に対し先を見据えた支援を行っており、今後にも期待したい。

2013年8月

施設の運営は概ね順調に行われている。

支援者を対象とした第2回目の療育講座を「発達障害の地域支援とは?」「療育相談センターの取り組み」をテーマに開催した。地域支援の取り組みを積極的に果たしており、今後の活動にも期待したい。

2013年7月

施設の運営は概ね順調に行われている。

今年度第1回運営協議会を開催し、活発な意見交換が行われた。

診療部門では外来の初診の数が増加している。診療待機の利用者に負担をかけないように、セラピストが対応するなど柔軟な対応をしていることは評価できる。

地域生活支援部門では7月1日付で相談支援事業所の指定を受け、3名の障害児支援利用計画案を作成している。

また、外来利用児の保護者を対象とした第1回療育講座を開催し、59名の参加があり、好評であった。

通園部門では保護者会主催で、福祉型クラスの座談会を開催し、先輩保護者との情報交換等が行われた。

また、新たに、ミキサー食、押しつぶし食の児の保護者を対象に管理栄養士による料理講習会を開催するなど、様々な形での家族支援を実施しており、今後も継続を期待したい。

1階通園施設の相談室でカビが発生し、湿度も70~87%と高くなっているため、換気等の対策を強化するなど、カビの発生予防に努めてほしい。

2013年6月

通園部門では養護学校の見学会の実施や就学先への引き継ぎを行うなど、先を見据えた支援が行えている。

児童福祉法等の改正に伴い、法制度について職員の勉強会を2回開催しており、職員の専門性の向上と滞りない業務遂行のための努力をしていることは評価できる。

毎月実施している避難訓練では、優先して職員に来てほしいクラスがわかるような工夫をしており、現実に即した訓練をしている。

2013年5月

施設の運営・管理は概ね順調に行われている。

地域生活支援部門では教育委員会と連携をはかり、外来利用児・通園の年長・年中児の保護者を対象に就学説明会を開催しており、先を見据えた支援を行っている。

例年発生している、通園施設のカビ発生は見られていないため、引き続き換気等の管理を継続してほしい。

2013年4月

施設の管理・運営は概ね順調に行われている。

通園部門では25名の新入園児を新たに迎え、今年度が順調にスタートした。保護者全体懇談会やクラス懇談会で通園施設の基本方針、それぞれのクラスの療育のねらい等の確認を行っている。

地域生活支援部門では、親子教室を終了後幼稚園等に入園した児童を対象に、初めての同窓会を開催するなど、継続した支援が行われている。

2012年度評価

2012年度年間評価

安定した業務が遂行され、施設の運営管理は概ね良好に行われている。4月1日より法人の合併に伴い名称が「社会福祉法人新生会」から「社会福祉法人青い鳥」となったが、事前に掲示等で周知しており、名称変更・合併による混乱はなく業務が行われた。

幼稚園へ出向いての講座を開き、私立幼稚園協会の園長研修会への参加等積極的に地域に出向いている。

また、巡回相談が増加しており、地域支援の充実が図られている。通園の保護者会主催で保護者と先輩保護者との茶話会や座談会を開催しており、家族支援の充実が図られている。

新規に診療部門の外来利用児の保護者を対象とした療育講座の開催、武山養護学校の見学会の対象者を増やすなどといった、保護者のニーズに応じた支援が行われていることは評価できる。

また、年間を通じて様々な災害を想定した避難訓練の実施や横須賀警察署と連携した、「不審者対応研修・訓練」の実施等、児の安全に配慮した運営がなされている。事故等の発生においては、より現実に即した対応ができるよう、緊急時対応マニュアルの整備や連絡体制の徹底を期待したい。

2013年3月

施設の運営は順調に行われている。

通園部門では卒園式が滞りなく行われた。就学するにあたり、卒園児が入学予定の学校への引き継ぎ等、継続した支援が行われている。

新年度の入園説明会やバスルート・バスポイントの確認等、新年度の準備が着実に行われている。

診療部門では管理栄養士と看護師が中心となって通園課職員へ食物アレルギー研修を実施しており、児童の安全管理に配慮した対応がなされている。

2013年2月

施設の運営管理は概ね順調に行われている。

地域生活支援部門では、2月5日に外部講師を招き「発達障害児の育ちと学び-支援のつながりの必要性-」というテーマで療育講演会をシンポジウム形式で開催した。障害児支援において、年代に応じて関わる関係機関が変化していく中で支援の流れをしっかりとつなげていくことの大切さを考える中身の濃いものであった。

年間を通じて、様々な災害を想定した避難訓練を実施していることは評価できる。有事の際は電気が使えない等の様々な事態が予想されることから、より現実に即した対応が可能となるよう期待したい。

2013年1月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

児童、職員共に数名、インフルエンザの発生がみられたが、保護者にはメール配信システムにより情報提供するなど、感染の拡大を最小限にするための迅速な対応がなされている。

避難訓練を実施し、児童の安全の確保に配慮した対応が行われている。次年度に向けた準備が早い段階から行われており、計画的な運営が継続されている。

現時点で確保されていない診療科職員の配置については、採用試験を行い補充される見通しとなった。

2012年12月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

通園部門ではお楽しみ会を開催し、親子ともに楽しんでいる様子であった。また、来年度のバスルート・ポイントなどの作成に取り掛かるなど、計画的な運営が行われている。

現時点で確保されていない産休代替の診療課職員の配置については利用者に支障がないような運営を指導した。

2012年11月

施設の運営は概ね順調に行われている。

通園部門では横須賀警察署スクールサポーターを講師に招き「不審者対応研修・訓練」を実施しており、危機管理を考えての運営が行われている。

また、運動会が開催され、保護者等たくさんのご家族の参加により賑やかな運動会となった。

市が現地調査で改善をお願いした箇所について、今後は速やかに対応する事を期待したい。

2012年10月

施設の運営・管理は概ね順調に行われている。

通園部門では新入園児を迎え、後期が順調にスタートしている。公立保育園との交流保育や保護者を対象にした養護学校の見学も継続して実施されている。また、巡回相談をはじめとした相談件数も増加し順調に推移している。

2012年9月

施設の運営は概ね順調に行われている。

9月は療育相談センターの送迎バスの事故及び、京急の崖崩れ発生事故の2件の事故が発生し、緊急時対応が迫られた。幸い通園児童にけが等はなかったが、今後の対応として、緊急時対応マニュアル等の整備や連絡体制の徹底など、法令遵守を意識した尚一層の努力を期待したい。

県立岩戸養護学校との職員の情報交換会や早期療育のペンギン教室の保護者へ通園の説明会など、先を見据えた支援を行っている。

2012年8月

施設の運営は概ね順調に行われている。

施設の管理については、夏季休暇中に1階通園施設にカビが大量に発生したことから、夏季休暇中の施設管理の更なる徹底を期待したい。

2012年7月

施設の運営管理は概ね順調に行われている。

今年度第1回横須賀市療育相談センター運営協議会を開催し、活発な意見交換が行われた。

通園部門では公立保育園への巡回相談の増加等、地域支援の役割を積極的に担っている。

また、保護者会主催で通園卒業児の保護者と医療型児童発達支援センター利用児の保護者との茶話会が開催され、情報交換が行われた。今後も様々な形で家族支援の継続と充実を期待したい。

診療部門では新たに外来利用の未就園児の保護者を対象に「療育講座」を開催しており、通園利用児に限らず広く対象を拡大したことは評価できる。

2012年6月

施設の運営管理は概ね順調に行われている。

通園部門では幼稚園へ出向いて講座を開くなど、地域支援の役割を果たしており、今後も積極的な活動を期待したい。

また、保護者勉強会や養護学校見学を実施しており、家族支援の視点に立った支援の充実が図られている。

2012年5月

施設の運営管理は概ね順調に行われている。

施設の不具合について市へ速やかに報告し、対応について協議するなど安全管理に配慮した運営が行われている。また、教育委員会と連携を図り就学説明会を実施しており、就学を見据えた支援が行われている。

2012年4月

施設の運営は概ね順調に行われている。

4月1日より法人名が「社会福祉法人新生会」から「社会福祉法人青い鳥」となったが、事前に掲示板等で周知しており、名称変更・合併による混乱はなく業務が行われている。

また、人事異動等による新たな人員配置もあったが、支障なく業務が行われており、順調に新年度が開始されている。利用者が増えたことにより早期療育教室を一教室増設し、利用者のニーズに迅速に対応できている。

2011年度の評価

2011年度年間評価

安定した業務が遂行され、施設運営管理は概ね良好に行われている。

内部研修の実施や外部研修会等へ積極的に参加しており、職員の療育支援の専門性向上に努めている。施設の管理については、細部の点検を行い、修繕が適宜図られている。また、不具合については市と対応について協議しながら、児童の安全性の確保に努めている。地震対策等の対応においても、保護者の不安の声に対して、市へ速やかに報告し対応を要請するなど危機管理体制が十分に図られている。

保護者同士や先輩保護者との座談会が開催されたことや、10月から新規の教室を開設し、クラスの再編成を行うなど、利用者のニーズに応じた支援が柔軟かつ計画的に行われていることは評価できる。市内の健康福祉センターとの連絡会や市内の保育園との交流保育、横須賀市私立幼稚園協会との地域連携のあり方について意見交換を行うなど、関係機関との連携が図られた。

地域に根ざした療育機関として、地域連携の役割を果たしていくためにも、個人情報の保護と有効活用のあり方について十分留意しながら、関係機関との連携を継続させてほしい。今後も十分に情報共有などを行いながら、市と積極的な連携を図っていけるよう期待したい。

2012年3月

施設の管理運営は順調に行われている。

通園部門では、卒園式が滞りなく行われた。卒園児が就学する学校に訪問して児童の引継ぎを行い、継続した支援が行われている。各クラスでは、年度のまとめの懇談会を実施し、保護者と1年間の療育の振り返りを行った。

春休み期間中を利用して施設の修繕等が適宜行われており、児童の安全に配慮した対応がなされている。地域生活部門では、学校への巡回相談が多く実施され、学校との連携強化がうかがえる。今後も巡回相談の周知を関係機関に行い、地域に開けたセンターとしての役割に期待したい。

2012年2月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

今年度2回目となる運営協議会が開催され、地域の各機関の役割分担や巡回相談について話し合いが行われた。各部門では、次年度に向けた準備を進めており、安定した業務体制が図られている。横須賀市私立

幼稚園協会との地域連携のあり方について意見交換が行われた。支援の質の向上を目的とした職員研修を実施し、個人情報の保護と有効活用のあり方について、センター内で共有が図られた。

巡回相談は、地域支援の役割として機能しているが、今後は、地域支援力強化を図るためのコンサルテーションを目的とした巡回相談を実施し、幼稚園・保育園等のサポート機能の拡充に期待したい。

2012年1月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

居室等の温度、湿度設定などに留意し、児童の健康に配慮した管理が行われている。また、インフルエンザに関しては、児童の体調変化に対しメール配信システムで保護者へ注意喚起するなど、迅速な対応がなされている。退職者の補充は速やかに対応し、安定した業務体制が保たれている。

今年度初となる療育講演会を実施し、家族支援をテーマに多くの人に参加された。家族への配慮や、子どもを総合的に捉える視点を改めて見つめ直す有意義な講演会となった。

2011年12月

施設の管理運営は順調に行われている。

児童の安全や施設の衛生面に配慮した運営がなされている。

次年度へ向けて通園バスルート・ポイントの作成や、人員配置の検討が行われており、計画的な運営が行われている。今後は、施設へのコンサルテーションを目的とした巡回相談を用いての活動を更に充実させ、地域の関係機関との連携強化や、地域の支援力向上の役割に期待したい。

2011年11月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

県くらし安全指導員、警察スクールサポーターを招いて、職員を対象に不審者対応の研修や訓練が行われた。万々に備えての危機管理が徹底されている。

平成20年度より運営を開始してから約4年が経過したが、地域の幼稚園、保育園、学校等との連携の充実が図られてきた。関係機関との連携強化について、今後も更に連携を深めていくためには、研修の計画等の検討、実施などの新たな方法での更なる強化が必要である。

2011年10月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

通園部門では、運動会が開催され、保護者だけでなく祖父母、地域の方等を含め多くの参加があった。

地域生活支援部門では、10月から新規の教室が開催されるなど、ニーズに応じた支援が計画的に行われている。施設の管理については、適宜細部の点検を行い、修繕にも迅速に対応するなど安全性の確保に努めている。

2011年9月

施設の管理運営は順調に行われている。

通園部門では、保護者勉強会を開催し、支援が計画的に行われている。また、市内の保育園との交流保育を実施し、地域との連携を深めている。地域生活支援部門と診療課では、次月より新規に始まる早期療育教室の準備を行い、療育支援の充実が図られている。

台風15号については、状況に応じた迅速な対応を図るなど、児童の安全に配慮した対応がなされた。

2011年8月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

通園部門では、夏休み期間に後期に向けて施設の点検、整備等、児童の安全に配慮した準備が行われている。また、発達支援コーディネーターの実習を受け入れ、実習後には通園職員との意見交換が行われた。相互に顔の見える連携の機会となり、地域に根ざした活動が行われている。

夏休み期間を利用して、職員が積極的に専門的な研修を受講し、療育支援の質の向上に努めている。

2011年7月

施設の管理は順調である。

今年度、第1回目の運営協議会が開催され、人事異動等で欠員となった5名の委員が新たに補充された。

震災時の発達障害児の支援について積極的に意見交換がなされた。

通園部門では、初めての試みとして人形劇を開催し、園児、保護者共に好評であった。また、保護者参加日の中で父親同士の懇談会が行われ、日頃の子育ての情報交換が図られた。

2011年6月

巡回相談を積極的に行っており、地域と連携した支援に努めている。通園部門では、保護者同士や先輩保護者との座談会が開催され、家族支援の充実が図られている。マイクロバスの事故に関しては、迅速に市へ報告し、保護者への説明や運行业務の委託業者への研修など、事後対応としては適切な対応が図られた。今回、療育相談センターに過失はなかったが、児童の安全に大きく関わることであり、今後の再発の防止の徹底を指定管理者に指示をした。

2011年5月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

地震対策への対応が適宜図られており、安全管理に配慮した運営が図られている。また、教育委員会と連携をとり外来の利用児を対象に就学説明会を開催し、一貫支援を目指した取り組みが行われている。

2011年4月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

施設の修繕等が適宜行われており、児童の安全に配慮した対応がなされている。新しい職員体制のもと、計画的に新年度を迎えることができている。通園施設では、新しい入園児を迎え、順調に新年度がスタートしている。

2010年度評価

2010年度年間評価

安定した業務が遂行され、施設運営管理は概ね良好に行われている。

初めて法人内の人事交流として、人事異動が行われ組織の活性化が図られた。地域支援部門では相談件数、巡回相談共に着実に回数が増加している。特に巡回相談では学校の訪問件数が増加し、療育相談センターの機能が学校へ周知され、連携が構築されてきている。通園部門では、市内の幼稚園、保育園との交流保育が実施され、地域に根ざした療育機関としての地域連携の役割を果たしている。

2011年3月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

東日本大震災時には、利用者の避難、誘導を、市と連携をとり、安全に配慮して適切に行うことができた。

通園では、各クラスの修了式、卒園式が滞りなく行われた。

また、次年度入園予定の保護者の方を対象とした通園説明会が実施された。

2011年2月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

本年度第2回目となる運営協議会を開催し、療育相談センターの運営や各機関で行われている支援について、積極的な意見交換を行うことができた。通園施設部門では、市立養護学校と支援会議を開催し、卒園児の継続支援について連携を図ることができた。

2011年1月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

定期の防災訓練と合わせて、はぐくみかん全体の自主防災訓練に参加し、災害時の危機管理について対応の確認がなされ、児童の安全に配慮した運営が行われている。

2010年12月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

地域との連携の充実を図るため、幼稚園や保育園との交流保育や保育士の派遣研修が積極的に行われている。

2010年11月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

来年度に向けて、計画的に準備がなされている。外部機関との体験研修を積極的に行っており、地域とのつながりを深めている。また、不審者侵入を想定した研修と訓練を実施し、児童の安全に配慮した体制で運営されている。

2010年10月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。巡回相談においては、着実に回数を重ねており、地域との連携の構築に努めている。

2010年9月

安定した業務が行われている。10月入園児の入園説明会を実施し、後期に向けての準備が行われている。

保護者・支援者向けの講演会も実施し、地域に根ざした療育の専門機関としての運営に努めている。

2010年8月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

学齢期以降の電話相談や受診数も増え、学校への巡回相談などの連携した支援が着実に実施されている。

2010年7月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

今年度、第1回目の運営協議会が開催され、地域に根ざした施設運営を目的として、活発な意見交換が行われた。

2010年6月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

通園児及び外来児の保護者を対象とした就学説明会が実施された。また、通園児の保護者懇談会においては、新たに父親同士の意見交換や情報交換が行われたことは評価できる。

2010年5月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。通園児の保護者説明会では療育の基本方針を説明した。またクラス別懇談会や個別面談を通じて、保護者と共に協議しながら療育の目標設定について検討することができた。

2010年4月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。新年度に向けた準備や児童の安全管理に配慮した運営が行えた。

人事異動もあったが、混乱もなくスムーズに業務が行われている。

通園部門の入園式には主任児童委員、幼稚園の園長を来賓として迎え、地域に開かれた療育を目指した取り組みが実践されている。

2009 年度評価

2009 年度年間評価

開設 2 年目に入り、安定した業務が遂行され、施設運営管理は概ね良好に行われた。利用者の安全面に配慮した必要な施設改修が行われた。運営協議会を 2 回開催し、外部の意見を取り入れて有効に機能している。

安全対策委員会においては、災害、事故、不審者等の緊急対応を要する場面を想定した危機管理マニュアルも作成された。

2010 年 3 月

施設の管理運営は概ね順調に行われている。

市民向け第 2 回療育講演会を開催し障害児支援の理解を深める地域啓発を継続的に行うことができた。

卒園式は児童に合わせた工夫を盛り込み、安全に執り行うことができた。

翌年度入園する利用者に入園説明会を開催し、新年度に向けた準備が計画的に実施されている。

2010 年 2 月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

診療所や通園施設では、児童の安全や衛生管理に十分配慮した運営を行うことができた。

外部講師を招いた職員全体研修を行い、専門性の向上等をはかることができた。

2010 年 1 月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

本年度の 2 回目となる運営協議会を開催し、療育相談センターの運営や市全体の療育体制等について、貴重な意見交換を行うことができた。

療育相談センターの各部門において、児童の健康管理に十分配慮した運営が行われ、順調に業務を行うことができた。

2009 年 12 月

通園施設部門では、児童が新型インフルエンザに罹患したため、事前に制定したマニュアルに基づいた施設閉鎖の措置をとり、児童の安全確保に努めることができた。市立養護学校の教諭を招いて、新入生支援会議を開催し、通園施設卒園生の継続した支援について連携を図ることができた。

2009年11月

指定管理者主催の市民向け療育講演会を初めて開催し、障害児への理解を深めてもらうための地域啓発を行うことができた。

先月に引き続きインフルエンザへの対応策や、横須賀警察署の協力を得た不審者対応訓練が実施され、児童の安全に配慮した施設運営が行われた。

2009年10月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

通園部門では、保護者と協同で、安全に運動会を実施することができた。

台風の影響で通園施設の一部が被害を受けたが、安全に配慮した応急処置と施設改修の調整を迅速に行うことができた。

2009年9月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

通園部門では、通園児が新型インフルエンザに罹患したが、迅速な対応を行ったため、それ以上の拡散を防止することができた。

昨年度との上半期の実績比較では、診療件数と巡回相談件数で大きな伸びが見られており、療育相談センターに求められるニーズの把握に努めながら、業務が遂行されている状況である。

2009年8月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

通園部門や地域生活支援部門では、児童の夏季休暇期間にあわせて、大掛かりな物品の洗浄等を行い、翌月以降の準備を行うことができた。

新型インフルエンザや事故が起きた場合の対応など、事前によく検討され、適切な対処が行えるよう備えられている。

2009年7月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

通園部門、診療部門、地域生活支援部門ともに安定した業務が行われている。

療育相談センター運営協議会が開催され、より良いセンター運営を目的として、貴重な意見交換が行われた。

2009年6月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

地域生活支援部門では、幼稚園や保育園、小学校等を対象として、数多くの巡回相談を実施し、療育相談センターが行う地域支援が定着してきていることが伺える。安定した職員の執行体制に基づき、着実な業務運営が行われている。

2009年5月

施設の管理運営は、概ね良好に行われている。

先月に引き続き新型インフルエンザについては、市と連携しながら、安全に十分配慮した対応を行うことができた。

通園部門では、利用者からの意見や要望に配慮した運営が行えるよう、個別面談や懇談会を実施することができた。

2009年4月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

新年度に向けてあらかじめ準備を進めてきたため、順調に業務を開始することができた。新型インフルエンザについて、市とよく協議を行ない、危機管理に十分配慮した迅速な対応を行うことができた。

2008年度の評価

2008年度年間評価

施設の管理運営は概ね良好に行われた。

施設の開設初年度にあたり、特に安全面への配慮に重点を置いた運営を行うことができた。

運営協議会や懇談会などを通じて利用者の声に耳を傾け、市とも協議を行いながら、着実に業務を遂行することができた。

2009年3月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

通園部門では、初めての卒園式を安全に執り行うことができた。利用者の利便を考慮して施設内に新たな備品を設置するなど、施設の利用しやすさの向上に努めている様子が伺えた。

2009年2月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

通園部門では、利用者との面談を通じて年間の振り返りを行うと同時に、4月以降に向けた準備を着実に進めている。地域生活支援部門では、幼稚園や小学校に加えて福祉施設を巡回相談で訪れ、連携できる施設を少しずつ増やしている。施設面では、診療所の床の改修が完了し安全性が確認された。

2009年1月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。通園部門では、地域の幼稚園との交流保育が継続実施されている。診療部門では、昨年度と比較して施設規模の拡大及びサービス内容の充実が図られ、心理療法、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などの利用件数が、4月以降、徐々に増加してきている。今後も各機関との交流や連携を継続し、療育相談センターの機能が周知されることを期待したい。

2008年12月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。地域の幼稚園との交流保育や市民向けの講演会を開催するなど、療育支援の啓発活動も実施されている。

また、産業医による健康相談が実施され、職員の健康管理の充実が図られた。

2008年11月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。地域生活支援部門の巡回相談では、幼稚園・保育園に加え、小学校へも訪問するなど連携機関の拡大も徐々に図られている。

準備を進めてきた運営協議会を発足させ、様々な委員による多角的な視点で、よりよい療育相談センターの運営について、検討する場を設置することができた。

2008年10月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。地域生活部門では、巡回相談の件数が増え、地域の中での療育相談センターの役割発揮に努めている。通園部門では、運動会及び遠足の行事を安全に実施することができた。また保護者との間で、個別療育目標の確認や新入園児面談が行われ、下半期の通園事業の充実に向け準備が行われた。

療育相談センター全体のよりよい運営について話し合う場である運営協議会の準備が進められている。

2008年9月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

診療所部門では、受診者数が増加してきている。特に学齢期の児童の相談が増え、受診後の支援体制については課題であり、所内で検討委員会を設置するなど、よりよい療育の提供に向けて努めている。

2008年8月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。通園部門においては、個別指導計画が作成され、利用者との面談を通じて療育の方向性について確認が行われた。今後も利用者からの理解や満足が得られるような療育が引き続き提供されることを期待したい。

2008年7月

施設の管理運営は、概ね順調に行われている。

普及啓発活動として関係機関等に対し、障害の理解や療育相談センターの役割について、説明会や講演会を実施し、地域連携に対する事業も積極的に取り組んでいる。

利用者及び市民からの要望や意見は、療育相談センターの全部門の共通課題として検討され、業務運営に有効に反映されている。

2008年6月

施設運営については、概ね順調に行われている。利用者からの要望や意見を聴取し、個別面談や保護者懇談会を開催しながら、相互理解を図る場を設けていることは評価できる。通園部門については、引き続き、利用者に理解が得られるよう、日ごろの関わりや保護者懇談会等の機会を十分に活かし、基本的な信頼関係の構築を図られたい。診療所における、各療法士の行う訓練の実績が伸びてきた。引き続き、医師を始めコ・メディカルの専門性を活かした質の高い療育支援が行われることを期待したい。

2008年5月

診療・療育相談部門と同様に通園部門も本格的に稼動し、施設の管理運営は着実に行なわれている。保護者懇談会を開催し、利用者からの意見聴取に努めた点は評価できる。利用者からの意見や要望を踏まえた業務運営の適切な実施を期待したい。

2008年4月

療育相談センター業務開始に向けて、児童が、安全に安心して利用できるよう、保育プランの作成や施設の安全点検を行った。また、必要に応じて市と協議しながら改善、改修を行った。